

<多様な担い手（棚田オーナー等）の確保に取り組む事例>

○子供たちとの農業体験学習による集落づくり

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	佐賀県唐津市鎮西町串 ^{からつしちんざいまちぐし}			
協定面積 18.6ha	田（99%）	畑（1%）	草地	採草放牧地
	水稻	みかん		
交付金額 364万円	個人配分			50%
	共同取組活動 （ 50%）	役員報酬	3%	
		集落会合費	2%	
		道路・水路維持管理費	8%	
		道路・水路補修費	16%	
		景観作物作付費	6%	
		有害鳥獣対策費	6%	
		共同機械購入費	8%	
	事務費など	1%		
協定参加者	農業者 30人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

串集落は、佐賀県の北西部に位置する唐津市の中山間地域にあり、近年、農業者の高齢化や兼業化などにより、担い手不足が懸念されてきた。また、イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害も深刻化している。

そのため、平成 12 年度から中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、耕作放棄地の増加防止などを目的とした共同活動に集落全体で取り組むこととなった。

3. 取組の内容

第 1 期対策から継続している耕作放棄地の増加防止の取組と合わせて、第 2 期対策からは地区内の保育園児及び小学生を対象とした農業体験学習活動にも取り組んでおり、毎年、小学生約 25 名、保育園児約 10 名を対象に芋植えや芋掘りの体験学習を行っている。また、有害鳥獣による農作物被害を軽減するため、集落協定参加者の共同取組活動として、ワイヤーメッシュや電気牧柵を設置している。



【景観作物作付】



【農業体験学習】

〔集落の将来像〕

- 鳥獣害対策を拡大し、また、農作業の共同化や有機農業を推進する。これにより、効率的な農業生産ができる体制を整え、将来において担い手を確保し、持続可能な集落を構築する。



〔将来像を実現するための活動目標〕

- 有機農業への取り組みを推進する。
- 営農継続が困難となった農地を集落一体となって支え、持続可能な体制整備を図る。
- 地元小学生・保育園児への農業体験学習へ取り組む。

〔活 動 内 容〕

農業生産活動等	多面的機能活動	農業生産活動の体制整備整備
農地の耕作・管理 (田 18ha、畑) 個別対応	周辺林地の下草刈り 個別対応	高付加価値型農業の実践 (減農薬米の作付を H24 以降に計画) 共同取組活動
水路・作業道の管理 ・ 水路 0.7km、年 2 回 清掃、草刈り ・ 道路 3.1km、年 2 回草刈り 共同取組活動	景観作物の作付 (景観作物としてパンジー・ ビオラを作付けた。) 共同取組活動	多様な担い手の確保 (地元の小学生及び保育園児 約 35 名を対象に芋植え、芋 掘りなどの体験学習を行う) 共同取組活動
農地法面の定期的な点検 (随時) 個別対応		
鳥獣害防止柵の設置・管理 (イノシシなどによる農作物 への被害防止のため電気柵、 ワイヤーメッシュの計画的な 設置) 共同取組活動		

4. 今後の課題等

高齢化や兼業化が進む中で、耕作放棄地を増やさないためにも、担い手農家を中心とした農作業の共同化などの体制整備を行い、有害鳥獣対策を強化することで生産条件の強化を図っていききたい。また、保育園児・小学生を対象とした農業体験学習を今後も継続して行い、将来も農業生産活動が継続して行えるよう努めたい。

〔第 2 期対策の主な成果〕

- 水路・農道の適切な維持管理
- 水路・農道の補修
- 鳥獣害防止対策として電気柵を設置 (L=約1,800m)